

区長 ユーチューバーの方に対談してもらったのはたぶん始めて以来ですね。
ジョー しっかりユーチューバーが職業みたいな感じになって数年でもんね。僕が始めたのは11年前ですけど。光栄なことですね。
区長 生野区にはいつから住んでおられるんですか。
ジョー 生まれたときからですね。僕は今34歳なんで34年になりますね。一条通の方に実家があったんですよ。長屋が何軒か並んでる。そのうちの二軒で、二階建てでやっただけですけど、おじいちゃんがそれこそ生野島出身で、振興・親善・観光大使になったから生野島の知事に報告しに行こうって、大阪コリアタウンの理事長の洪さんと一緒に行きましてよな。

区長 ユーチューバーになられたのはどうしてですか。
ジョー 人が集まる場所や人が好きだったんで、いろんな人たちが集まって仲良くできるコミュニティ空間を作りたいって思ってたんですよ。それをオンラインに落とし込んだらもうSNSやなと思って。そしたら友達からユーチューブに誘われました。
区長 最初の頃の目標って確か牛丼一杯。ジョー そうです。最初は広告収入が入るっていう実感もなかったんですよ。とりあえず自分が始めた動画で、牛丼一杯を食べるってことを目標に始めました。職業になるとは思ってなかったです。動画上げていくうちに試行錯誤して、再生回数やチャンネル登録者数が伸びてくれば食べるようになります。今では家買えるぐらいになりました。それで生野区に寄付もさせていただきました。
ジョー ユーチューブのおかげですか、その広告収入のおかげですか。
区長 ありがとうございます。1000万円を寄付していただいたおかげで、生野区のグローバルタウン物語プロジェクトを進めることが出来ました。

具体的には、ものづくりの会社の技術力とクリエイターのアイデアを合わせて新製品を作る財源として使わせていただいています。今後は外国ルーツの子どもたちが増えているので、その日本語指導であるとか、国籍関係なく働く場所とかが、近鉄の鶴橋駅の高架下に常設の夜市ができればと考えています。
ジョー 世界のいろいろな国の夜市ができ



るってことですね。それは楽しみです。出来上がったらまたそこで撮影させてください。
区長 いくのパークでのスケルトンハウスの動画もありましたよね。
ジョー 360度丸見えの透明の家で24時間生活するっていう。なかなかないじゃないですか、地域指定のしかも僕が通った母校で学ラン着て24時間生活。
区長 本場に丸見えですね。めっちゃ生野区でも話題になってましたよ。区外からもいっぱい人来ていただいて。何が起ったんやろうって感じ。
ジョー 数百人だったと思います。24時間なんで合計で言ったらすごい数だと思います。区長 生野区のPRに感謝です。
ジョー 世界一でかいダンボールハウスをいくのパークのグラウンドで作るっていうね。あれ雨で大変なことになりましたね。でも雨降ってよかったです。
ジョー やっぱユーチューブやってて思うことは、トラブルがネタになるんですよ。雨降ってなかったら僕普通に24時間生活楽しんでたんですけど、しっかりドラマが生まれたのでよかったです。
僕が通った母校が閉校になるっていう、ちょっと寂しいことではあるじゃないですか。ですけど、ああいう形で活用させていただけ嬉しかったです。
区長 めちゃくちゃありがたいです。情報発信力はすごいですよね。240万人を超えるフオロワーさんがいらして、視聴者さんかね、生野区のイベントにも来てくださってるんですよ。
区役所のイベントで「ジョーさんですか。」って聞かれて、「ええっ。」って言うたら、「ジョーブログを見て気になって来たんです。お店行ってみたら生野区気に入って。それからよく来てます。」って聞いていただいて。まさに、振興・親善・観光大使。

ジョー いえいえ、ありがとうございます。僕も東京と大阪往復の生活多いんですよ。東京でラジオとかやってるんですけど、いろいろなゲストの方と喋ってたら、「地域の活動とかしてるんやんね。」みたいな話をされて、「あのジョーさんという区長面白いよね。」という話を東京の人とかもするんですよ。だからやっぱり知ってるかわか

からなっていくのと、あとやっぱりテレビと違ってちょっと親近感はあるんじゃないですか。手軽に見えるし、一気にかつちりしたイメージが柔らかくなるというか。ユーチューブに出ていただけて嬉しいです。
区長 昔と現在で生野区はどんな風に変わりましたか。
ジョー 韓国の料理屋さんや昔からあったんですけど、ミャンマーとかネパール料理屋さんとかが増えて、多国籍になりましたよね。あとはコリアタウンの盛り上がりがあるんですけどね。韓流ブームっていうのがすごい韓国をポップにしましたよね。今コリアタウンってもうすごい綺麗で年間200万人来ると言われてるんですよ。
僕も結構海外の方とか、この町に行ってもわりと溶け込めるんですけど、そういう自分のマインドってやっぱり生野区から来るんやなと今思いました。
逆に、海外の方に喋りかけられてもずっと受け入れるんですよ。
それは日本人でもやっぱり結局人と人ってちょっと異文化交流みたいなところあるじゃないですか。生まれ育ちとか生き方が全然違うんで、違って当たり前みたいな。
区長 それまさにこの異和共生。異なったままで和やかに、ともに生きるという。違いはそのまま認めたままで、壁はあるんですけど、壁はしっかり立てたままでも、でも壁を支えているのは、歴史だったり文化だったり、個人の大切な想いだったりするので、それらを認め合って大切にしながら、でも壁を少しずつ乗り越えて、壁と壁の間で一緒にできる事を考えていきたいと思います。

ジョー 生野区にぴったりな言葉でめっちゃくちゃいいですね。
区長 振興・親善・観光大使として印象に残った思い出はどんなことですか。
ジョー いやもうありますよ。いっぱいあります。

どね。区役所の就任式でトークスピーチさせてもらったときから始まりましたけど、僕の友達だったり親が来てくれたりして。晴れ舞台を用意してもらったことはすごい思い出です。僕の家族もすごい喜んでくれました。
あとは、いくのパークという自分の通った母校で、イベントをやったりとかユーチューブの番組撮影をして、そこに自分の視聴者さんが訪れてくれるっていう、ほんまにすごい感慨深い気持ちになってました。
小さい頃制服着て食パンかじりながら寝癖つけて走り込んで登校ギリギリアウトやったときの、子ども少年ジョーがまた改めてこういう形でいくのパークに来れるっていうのがすごく光栄でしたね。
区長 今後どのような活動をしていきたいですか。
ジョー ものづくりメンバーの皆さんと鳥人間コンテストとか、それこそジョーさんきっかけでお菓子のフルタ製菓さんとコラボさせてもらって、いくのパークでお菓子の家を作ったり子どもたちを集めて、お菓子食べてもらうとか。僕が子どもどものときに、憧れた秘密基地を作りたいなことをしていきたいですね。
そして、ユーチューブの企画を通して、地域と一緒にコラボして、生野区を通して、子どもたちだったりとか、日本全国の大人も含めて夢になるような、そういう挑戦とか番組作りをしていけたらと思います。
本場にエンタメが好きですね。
なんか面白いなと思ってもらえることだったり、見た人が楽しんでくれたり、元気になったり、そういうエネルギーを生み出すことが僕は好きなんです。見た人に夢を与えたいなと思います。それを生野区から発信していきたいなと思います。

異和共生 生野区長 筋原 章博 生野区 振興・親善・観光大使 ジョー 生野区のこれから 生野区の未来について生野区長と語ってみたい... ジョーブログ CRAZY CHALLENGE

異和共生 生野区長とジョーの対談動画 1:04:44 ご報告です。生まれ育った地元の親善大使になりました。 27万回視聴・1年前

YouTube ユーチューブ YouTubeとは... 世界中の人が動画をみたり、自分で作った動画を投稿できるインターネットのサービスです。

スケルトンハウス 24時間丸見え生活 透明の家で24時間丸見え生活... 61万回視聴・3週間前

このあと豪雨 24時間ダンボールハウス 日本一大きいダンボールハウスを作って24時間生活した... 48万回視聴・2週間前

ジョープロフィール チャンネル登録者数240万人を超えるユーチューブチャンネル「ジョーブログ」を運営している。 チャレンジすること、テーマに、アメリカ大陸横断、南米縦断、アフリカ縦断、アマゾン川、南極渡航などの旅動画や、ディープスポット、無人島サバイバルなど様々な動画を配信している。 2024年に生野区振興・親善・観光大使に就任。地域への寄付などの活動も認められ、天皇陛下より紺綬褒章を受章。

ジョープロフィール



ジョー 生野区にぴったりな言葉でめっちゃくちゃいいですね。

区長 振興・親善・観光大使として印象に残った思い出はどんなことですか。

ジョー いやもうありますよ。いっぱいあります。

どね。区役所の就任式でトークスピーチさせてもらったときから始まりましたけど、僕の友達だったり親が来てくれたりして。晴れ舞台を用意してもらったことはすごい思い出です。僕の家族もすごい喜んでくれました。

あとは、いくのパークという自分の通った母校で、イベントをやったりとかユーチューブの番組撮影をして、そこに自分の視聴者さんが訪れてくれるっていう、ほんまにすごい感慨深い気持ちになってました。

ジョー ものづくりメンバーの皆さんと鳥人間コンテストとか、それこそジョーさんきっかけでお菓子のフルタ製菓さんとコラボさせてもらって、いくのパークでお菓子の家を作ったり子どもたちを集めて、お菓子食べてもらうとか。僕が子どもどものときに、憧れた秘密基地を作りたいなことをしていきたいですね。

そして、ユーチューブの企画を通して、地域と一緒にコラボして、生野区を通して、子どもたちだったりとか、日本全国の大人も含めて夢になるような、そういう挑戦とか番組作りをしていけたらと思います。

本場にエンタメが好きですね。なんか面白いなと思ってもらえることだったり、見た人が楽しんでくれたり、元気になったり、そういうエネルギーを生み出すことが僕は好きなんです。見た人に夢を与えたいなと思います。それを生野区から発信していきたいなと思います。

【1月8日(木)対談】

あとは、いくのパークという自分の通った母校で、イベントをやったりとかユーチューブの番組撮影をして、そこに自分の視聴者さんが訪れてくれるっていう、ほんまにすごい感慨深い気持ちになってました。

小さい頃制服着て食パンかじりながら寝癖つけて走り込んで登校ギリギリアウトやったときの、子ども少年ジョーがまた改めてこういう形でいくのパークに来れるっていうのがすごく光栄でしたね。

